

令和5年度1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立高梁高等学校	
実践者等		流尾卓志	実践日 令和5年5月26日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		英語表現Ⅱ 文章を組み立てる Lesson 3 パラグラフ② 例示・追加 『Vision Quest English ExpressionⅡ Ace』(啓林館)	
対象生徒(学年等)		3年次2・3組(理系) 標準グループ(男子14名・女子9名)	
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能(技術) ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等	
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化	
		☐ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用	
		☒ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化	
		☐ その他()	
	家庭学習	☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☒ 補習・定着	
実践の内容			
【授業】 1 リスニング 本課のテーマの英文を2回聞き、その後ペアで内容を確認する。 2 教科書説明 例示・追加を表す論理的なパラグラフ構成の確認する。 3 マイクロディベート ワークシート(Chromebookに配信)を使い、テーマに対する賛成・反対の意見を各自まとめた後、マイクロディベートを行う。 メンバーの発言はワークシートに書き取る。 ・発言用のフォーマットを与えていたので、発言は比較的スムーズに行えていた。 4 エッセイライティング マイクロディベートで得られた考えも参考にしながら、作文する。その後、英文添削サイト(DeepL Write)で各自で作文の添削を研究する。  ・マイクロディベートにより、複数の考えが得られたので内容的には困らないが、英語にすることに苦勞していた。 ・文法・語法的に的確な候補が瞬時に示されるので、非常に参考になったようである。 5 音読 各自の作文をテキスト読み上げサイト(Natural Reader)で音声化させ、次時の発表に向けてシャドーイングで反復練習をする。 6 本時の振り返りと次時の連絡 チェック項目で振り返り、ワークシートは送信提出。			
【本時と家庭学習との連動】 (本時後) ○次時の発表に向けて音読練習を繰り返す。繰り返し音読し、パラグラフ構成を定着させる。その際に、授業で使ったNatural Readerの音声を使い、音声面にも気を配りListeningにも繋げる。			